

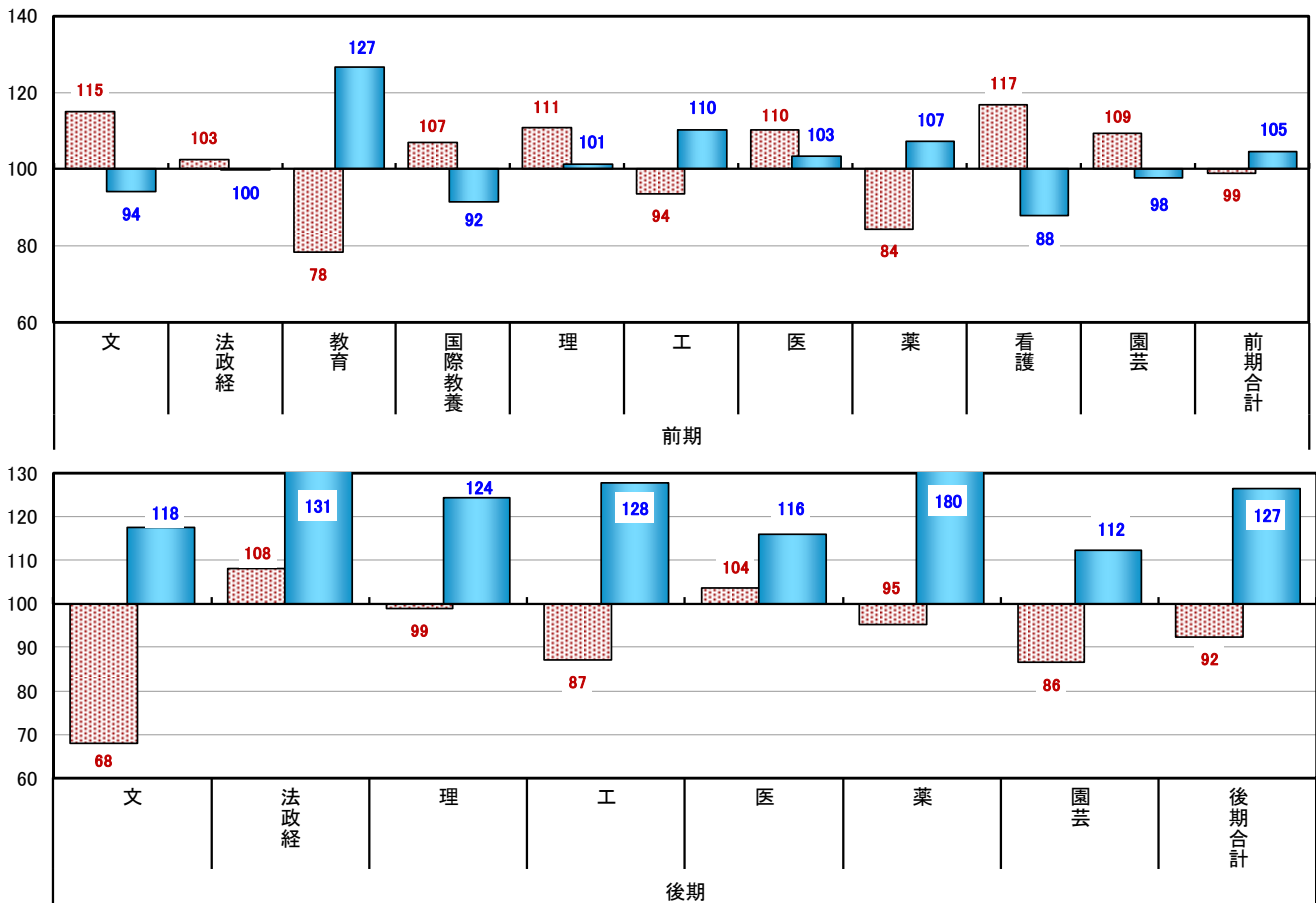
2021 年度入試状況分析【国公立大】

千葉大：国公立大では6年連続で志願者数最多

前期：+291人 後期：+1,062人

※前年度の志願者数を100とする指数

■2020年度/2019年度 ■2021年度/2020年度



入試変更点

出願方法：紙の願書での出願→インターネット出願
 募集人員：国際教養…<前>(通常型)75人、(特色型)10人→(通常型)83人
 工…<前>466人→456人
 園芸(園芸)…<後>12人→9人
 個別試験：法政経<前>、教育(学校/英語を除く)<前>、理(化学、数学・情報、生物、地球科学)<前>、工<前>、薬<前>
 …英語外部試験新規利用(利用方法：得点加算、対象試験：ケンブリッジ英検、英検、GTEC(4技能)、
 GTEC CBT、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC LR&SW)
 国際教養<前>…外+(国 or 理)+(歴公 or 数) ※理：物 or 化 or 生 or 地学
 →外+(国 or 理)+(歴公 or 数) ※理：物 or 化 or 生
 薬<前>…数+理+外 ※理：化→数+理2+外 ※理：化+(物 or 生)
 園芸(園芸、応用生物化学)<前>…数+理+外 ※理：物 or 化 or 生 or 地学→数+理+外 ※理：物 or 化 or 生
 園芸(園芸)<後>…総合問題→理2

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体(113)では、1,353人の増加で、国公立大では6年連続で志願者数最多。日程別では、前期(105)は291人のやや増加で4年ぶりの増加、後期(127)は共通テストの平均点アップの影響もあって1,062人の大幅増加。

<前期日程>

- 文(94)は、前年度大幅増加の反動で減少。コース別では、(人文/国際言語文化)(119)は大幅増加だが、他の3コースはいずれも減少、特に(人文/歴史)(87)は2年連続減少。
- 法政経(100)は、前年度並。2018年度以降900人台の志願者数が継続。
- 教育(127)は、2年連続減少の反動で大幅増加。課程・コース・分野別では、(学校教員養成/中学数学)(82)は大幅減少、(学校教員養成/中学理科)(90)は減少だが、他の12募集単位は増加。特に(学校教員養成/小中家庭)(222)は倍増以上、(学校教員養成/中学国語)(191)、(学校教員養成/小中保体)(183)は激増。
- 国際教養(92)は、減少、ただし廃止された(特色型)を除いた(通常型)(97)のみではやや減少。開設2年目の2017年度以降、前年度の反動による増減が継続。
- 理(101)は、前年度増加の反動はなく前年度並。学科別では、化学(112)、(生物)(111)が10%を超える増加、一方で、(地球科学)(81)が大幅減少。

2021 年度入試状況分析【国公立大】

- 工(110)は、2年ぶりに増加。今の募集単位になった2017年度以降では2017年度の最多志願者数1,910に次ぐ志願者数となった。コース別では、(総合工/機械工)(72)が大幅減少、(総合工/共生応用化)(99)と(総合工/医工学)(100)が前年度並だが、他の6コースは増加。特に、(総合工/電気電子工)(161)は激増、(総合工/都市環境システム)(133)、(総合工/物質科学)(127)、(総合工/情報工)(120)の3コースは大幅増加。
- 医(103)は、やや増加で3年連続増加。志願倍率は<一般枠>が4.0倍、<地域枠>が2.9倍で、<一般枠>でのみ第1段階選抜が実施され、合格率は74.3%だった。
- 薬(107)は、前年度大幅減少の反動は小さく、やや増加。志願倍率は5.1倍と5倍を上回った。
- 看護(88)は、前年度大幅増加の反動で減少。2016年度以降、前年度の反動による増減が続いている。
- 園芸(98)は、2年連続増加の反動は小さく微減に留まった。学科別では、(園芸)(145)は大幅増加、一方で(食料資源経済)(65)は大幅減少。

<後期日程>

- 文(118)は、2年連続減少の反動で大幅増加。2コースともに増加で、(人文/歴史)(129)は大幅増加。
- 法政経(131)は、大幅増加で3年連続増加。志願倍率は12.5倍→16.4倍にアップ。横浜国立大の個別試験実施なしの影響で、上位大学前期からの併願先となったことが影響。第1段階選抜が実施され、合格率は81.2%だった。
- 理(124)は、7年連続減少の反動で、大幅増加。横浜国立大の個別試験実施なしの影響で、上位大学前期からの併願先となったことも影響。学科別では5学科全てが増加、特に(生物)(163)は激増、(地球科学)(146)、(数学・情報)(116)が大幅増加。
- 工(128)は、大幅増加。改組後2年目の2018年度以降、前年度の反動による増減が継続。横浜国立大の個別試験実施なしの影響で、上位大学前期からの併願先となったことも影響。コース別では、7コースすべてが増加。(総合工/建築)(101)を除いた6コースは大幅増加。
- 医(116)は、大幅増加で2年連続増加。志願倍率は<一般枠>が25.9倍、<地域枠>が9.0倍で、いずれも第1段階選抜が実施され、合格率は<一般枠>67.0%、<地域枠>77.8%で、<一般枠>が激戦だった。
- 薬(180)は、4年連続減少の反動で激増。志願倍率は24.8倍と2017年度以来の20倍を上回った。
- 園芸(112)は、前年度減少の反動で増加。学科別では、(園芸)(146)、(応用生命化学)(127)の大幅増加が目立った。